

スポーツと文化の力で、未来輝くまちへ！

～工藤公康氏を迎え、「スポーツ・文化を活用したまちづくりシンポジウム」を開催～



▲町内で活躍するトゥレ絵理さん、徳永吉宏さんとのパネルディスカッション



▲専修大学熊本玉名高等学校吹奏楽部によるオープニングイベント

10月3日、ながす未来館で、スポーツ・文化を活用したまちづくりシンポジウムを開催しました。

この日は、福岡ソフトバンクホークス元監督の工藤公康さんを招き「スポーツが人を育てる～夢・挑戦・つながりが生み出す力～」をテーマに、平井友莉KKTアナウンサーとのトークセッションや、町内出身者とのパネルディスカッションを行いました。

会場には、町内外から約600人が来場。夢に向かって挑戦することの大切さや、現役時代や監督時代の裏話に会場は大いに盛り上がりしました。

また、会場では、火の国サラマンダーズやロアッソ熊本、熊本ヴォルターズ、その他多くの企業のPRブースや、キッチンカーの出店も行われました。



◀当日の詳しい様子については、町ホームページをご覧ください。

9/16

令和8年熊本地震の復興に向けて
長洲友の会から義援金が寄せられました



長洲友の会の長濱さん、濱北さん、中村会長（左から）、大崎さん（右）

長洲友の会（中村正一郎会長）から、令和8年熊本地震の復興支援として、30万円の義援金が寄せられました。

今回の義援金は、被災地の一日も早い復旧・復興に役立ててほしいとの思いから、長洲友の会の皆さんから町長へ手渡されました。

町では、被災地の復旧・復興に役立てるため、皆さんから寄せられた義援金を、復興支援金として日本赤十字社へ寄付しています。

中村会長は、「被災地に届けていただき、復興に少しでも役立ててほしいです。一日も早い復興を願っています」と話しました。

9/13

多文化交流夏祭り体験イベント開催
楽しみながら日本の『夏祭り』を体験



皆で踊った長洲音頭に笑顔があふれました

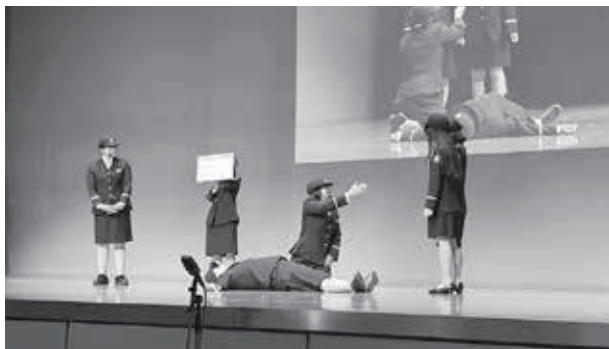
金魚の館で「多文化交流夏祭り体験イベント」を開催しました。

これは長洲町周辺に住む外国人と日本人が、日本文化に親しむとともに、交流を深め、互いを理解する機会をつくることを目的に開催したもので、今年で2回目の取り組みになります。

この日は、外国籍の人を含む50人以上が参加。講師から長洲音頭を習ったり、射的や綿菓子づくりを体験したりしながら、日本の文化を楽しみました。

参加者からは「射的で景品が取れてうれしかった。またやってみたい」「長洲音頭をみんなで踊って楽しかった。のしこら祭でも踊れるように家でも練習したい」といった感想が聞かれました。

9/24 スケッチブックでわかりやすく！
女性消防隊が心肺蘇生法指導を事例発表



ステージ上で実際に行っている指導方法を披露

町消防団女性消防隊（廣岡奈菜隊長）は、札幌市で行われた「第31回全国女性消防団員活性化北海道大会」で、事例発表を行いました。

これは、全国的女性消防団員が一堂に会し、活動内容や経験を共有し、交流を深めることで、消防活動の活性化と地域防災力の向上を図るものです。

発表では、「誰にでもできる、誰にでも伝わる心肺蘇生法」と題し、スケッチブックを使って分かりやすく心肺蘇生法を指導する教材づくりについて、実技を交えて紹介しました。また、会場内では、防災リュックの備えなどについても展示発表を行いました。

参加者からは、「自分たちでもやってみたい」「もっと詳しく知りたい」といった声が寄せられました。

10/3 和気あいあいと多世代交流！
平原まつり2026が開催されました



会場は多くの人でにぎわい笑顔があふれました

平原区（中山景悟区長）では、平原公園で平原まつり2026が開催されました。

このまつりは、多世代交流事業の一環として毎年開催されているもので、10年以上続く恒例行事となっています。

この日は、区民や協力団体によるバザー、歌やダンスなどのステージイベントが行われ、区民の交流の場となりました。

中山区長は「地域のつながりを実感できる、素晴らしいお祭りとなりました。子どもから大人まで多くの人が集まり、世代を超えて交流を深められたことが何よりうれしかったです。これからも、みんなで楽しめる行事を続けていきたいです」と話しました。

9/24 長洲町に縁のある立花宗茂と闇千代姫について学ぶ
特別授業「長洲でつながる立花宗茂と闇千代姫」開催



授業を受けた3年生の皆さん

長洲中学校（青山賢治校長）では、3年生を対象に、特別授業「長洲でつながる立花宗茂と闇千代姫」を行いました。

授業では、公益財団法人立花財団 立花家資料館館長の植野おかり氏を講師に迎え、立花宗茂と闇千代姫に関する講演が行われ、立花家史料館公式キャラクターの宗茂公と闇千代姫が、生涯の決断の場面を再現した演武を披露しました。

生徒からは「昔も今も、人生には選択しなければならない場面がいくつも出てくるんだなと思った」「大切な人にどんな言葉を渡すのかがいかに大事かがわかった」という声が聞かれました。

10/1 長洲町地域婦人会が複十字シール運動募金
結核のない世界を目指して



結核検診会場で普及啓発活動をした長洲町地域婦人会の皆さん

長洲町地域婦人会（石本啓子会長）は、10月1日と2日に、結核検診の会場で複十字シール運動を実施し、結核予防の大切さを呼びかけました。

複十字シール運動は、募金活動を通して結核をはじめとする肺の病気への理解を深め、これらの病気をなくし、健康で明るい社会をつくることを目的とした運動です。

寄せられた募金は、結核の普及啓発や結核予防団体の活動などに役立てられます。

参加した会員は「複十字シール運動募金を通して、引き続き皆さんへの結核予防の普及啓発を行っていきたい」と話しました。

10/7 10月はシルバー人材センター事業普及啓発促進月間
会員による社会貢献活動を行いました



町役場敷地内での作業の様子

公益社団法人長洲町シルバー人材センター（竹本康美理事長）は、町役場敷地内とシルバー人材センター事務所周辺で、草取り・剪定などのボランティア活動を実施しました。

これは、10月の「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」に合わせ、シルバー人材センターの活動を広く知ってもらおうと毎年実施しているものです。

この日は51人の会員が、役場敷地内や事務所周辺の草取り・剪定などに取り組み、環境美化に汗を流しました。

また、10月下旬には、地域班ごとにボランティア活動の日が設けられ、地域の環境美化に取り組みました。

10/6 ピンチはチャンス「やってみよう！」から始まる一歩
中学生未来づくり応援事業講演会を開催しました



「ん〜、やってみよう！」の掛け声で三津家さんと集合写真

長洲中学校（青山賢治校長）では、全校生を対象に、生徒会が企画・立案した講演会を開催しました。

講演では、ランニングアドバイザーの三津家貴也さんを講師に迎え、現在の活動内容や、これまでの成功体験、挫折をどのように乗り越えてきたかについて話されました。

三津家さんは、「失敗することではなく、チャレンジしないことが一番のミス。失敗しても反省し、次に生かすことができる。ピンチがチャンスになることもあるので、迷うことがあればチャレンジしてほしい」と参加者に呼びかけました。

生徒からは、「どうしたら早く走ることができるか？」「どうしたら走ることが楽しくなるか？」など、たくさんの質問が出ていました。

10/10 秋の夜長、名石神社が笑顔に包まれました
上沖洲区 秋祭り演芸奉納が開催されました！



歌や踊りなどのステージ発表は大いに盛り上がりしました

上沖洲区（山村耕治区長）では、名石神社秋祭り演芸奉納が行われ、約200人が名石神社を訪れました。

当日は、町内外から多くの出演者が集まり、歌や踊りなどのステージ発表で会場を盛り上げました。

また、恒例の“鯛替”抽選会の他、お楽しみ抽選会も行われ、会場は大いに盛り上がりしました。

秋の夜長に、笑顔と笑い声があふれるひとときを過ごし、地域の交流を深める機会となりました。

山村区長は「多くの区民の皆さんや関係団体の皆さんのおかげで毎年開催できています。これからももっと賑わいのある活動を行っていききたい」と笑顔を見せました。

10/8 令和8年熊本地震の復興に向けて
のしこら祭実行委員会から義援金が寄せられました



のしこら祭実行委員会の野田さん、岳崎さん、大石委員長（左から）

のしこら祭実行委員会（大石洋委員長）から、令和8年熊本地震の復興支援として、3万2,363円の義援金が寄せられました。

この義援金は、被災地の一日も早い復旧・復興に役立ててほしいとの思いから、のしこら祭当日に会場で募金を呼びかけたものです。集まった義援金は、実行委員会の皆さんから町長へ手渡されました。

町では、被災地の復旧・復興に役立てるため、皆さんから寄せられた義援金を、復興支援金として日本赤十字社へ寄付しています。

大石委員長は、「熊本地震の影響で開催が危ぶまれましたが、皆さんのおかげで開催することができ、長洲町から元気を届けることができたと思います。この義援金が復興に少しでも役立ってくれるとうれしいです」と話しました。

10/12

長洲スポーツフェスタ～長洲まるごとスポーツDAY～開催！
スポーツでつながる、笑顔あふれる一日！



ペタンク大会には216人の参加がありました

長洲町スポーツフェスタ実行委員会（吉田一明実行委員長）は、スポーツの日に合わせて「長洲スポーツフェスタ～長洲まるごとスポーツDAY～」を開催しました。

当日は、ペタンク大会やサップ体験教室、骨密度測定など、さまざまなスポーツイベントが行われ、約750人が参加。子どもから大人まで多くの人が、スポーツや体験を楽しみながら、笑顔でイベントを満喫していました。

吉田実行委員長は「スポーツの楽しさや魅力を感じてもらうとともに、世代を超えた交流や地域のつながりを深める機会になったと思います。今後も、誰もが気軽にスポーツを楽しみ、健康づくりや地域交流につながる機会をつくっていききたいです」と話しました。

10/17

BTS長洲 開設17周年記念～ながす金魚杯～開催
ボートレース大村でながす金魚をPR！



表彰を受ける山口晃朋選手（右）

長崎県大村市のボートレース大村で、10月14日から17日までの4日間、「ながす金魚杯」が開催されました。

これは、BTS（ボートレースチケットショップ）長洲の開設17周年を記念して行われたもので、最終日の17日にはボートレース大村にて金魚すくいのイベントも実施しました。金魚すくいに参加した子どもたちには、長洲の特産品でもある「金魚もなか」を配布しました。

また、優勝した山口晃朋選手に長洲町から賞状と副賞、そして優勝プレートを贈呈し、会場からは大きな拍手が送られました。

今回のイベントを通して、金魚すくいの楽しさとともに、金魚のまち・長洲町の魅力を発信しました。

10/11

仮装で楽しむ、秋のナイトウォーク
上沖洲区 ハロウィンウォーキングが開催されました！



ハロウィンにちなんだ仮装で楽しみました！

上沖洲区（山村耕治区長）では、上沖洲区子ども会主催のハロウィンウォーキングが行われ、仮装した子どもと保護者18人が夜の上沖洲区内を約1時間かけて歩きました。

このイベントは、ハロウィンに合わせて区内を回り、子どもたちと地域住民との交流を深めるとともに、防犯意識の向上を図るもので、今年で2回目となります。

参加者は、地域の人の家を訪問し、「トリック・オア・トリート！」と元気な声でお菓子をもらいながら、ウォーキングを楽しみました。

また、防犯灯の位置や暗い道などの危険箇所を確認するなど、地域の安全について考える機会にもなりました。

10/14

企業版ふるさと納税を活用
株式会社ひまわりてれびへ感謝状を贈呈



感謝状を受けた本田 洋一 玉名営業所 所長

企業版ふるさと納税制度を活用して寄附を行った株式会社ひまわりてれび（宮崎健代表取締役社長）へ感謝状を贈呈しました。

同社は、長崎県雲仙市に本社を置き、島原市や南島原市、諫早市、長洲町、玉名市をサービス提供エリアとし、多チャンネル放送サービスやインターネット接続サービスを提供しています。

また、放送通信分野における地域インフラとしてのケーブルテレビ事業を主軸として、コミュニティFM事業やプロパンガス販売事業を行われています。

本田玉名営業所所長は「本年度も引き続き寄附ができたことを嬉しく思います。地域のまちづくりに活用してほしいです」と話しました。